

⚠️ 特に注意していただきたいこと

本製品について守らなければいけないことを記載しています。必ずお読みください。

◎ 禁止事項

⚠️ 警告

下記に示す【状態】の人は入浴させないでください。

事故、症状の悪化の原因になります。個別の症状については医師などに相談してください。

- 意識レベルの低い人(睡眠薬を服用している人など)
- 皮膚知覚障害のある人(糖尿病、神経症、温度感知喪失、麻痺など)
- 心肺機能障害のある人
- 血圧異常のある人
- 小児、意思表示ができない人
- 酒気を帯びた人
- 極度に体力が衰えている人
- 発熱している人
- 入浴に適さない外傷のある人
- 感染症にかかっている人
- 仰向け姿勢がとれない人
- 医師などが入浴に適さないと判断した人

下記に示す【事態】では入浴を中断してください。

事故、症状の悪化の原因になります。個別の症状については医師などに相談してください。

- 入浴者が浴湯を多量に誤飲したと思われる場合
- 入浴者がヤケドしたと思われる場合
- 入浴者が異常を訴えた場合、または入浴者に異常が認められた場合
急に高温浴に入ったり冷浴を利用したりすると、軟部組織の緊張が高まり入浴者が異常を訴えることがあります。入浴者に異常がある場合は、直ちに浴槽から搬出するなど適切な措置を講じてください。
殺菌入浴中、発赤、腫れ、かゆみ、灼熱感、水疱など皮膚に異常を発見した場合は、直ちに入浴を中止し、医師または薬剤師に相談してください。

1. ご使用前に

特に注意していただきたいこと

◎ 全般的な注意事項

警告

下記の事項を守ってください。事故、ケガ、機器の故障の原因になります。

- 本製品の取り扱いについて十分な教育を受けた人以外は使用しないでください。
- 本製品は介護浴槽です。本来の用途以外の目的で使用しないでください。
- ご使用前に本製品が正常に作動することを必ず確認してください。「保守・点検」(P. 47 参照)
- 近くで医療機器や電子機器などを使用しないでください。
相互に誤作動を起こすおそれがあります。EMC(電磁両立性)に関しては、弊社にご相談ください。
- 弊社の認定を受けた専門家以外は本製品の分解、改造や修理をしないでください。
高圧の油圧シリンダー用オイルが噴出した場合、失明、手足の切断、ミスト火災など重大な事故の原因になります。
修理の際は、必ずお買い上げ店または最寄りの弊社支店・営業所にお申し付けください。
- 移設や搬出、転売をする場合は、必ず弊社または弊社指定業者へお申し付けください。
浴槽本体は約 310kg の重量物のため、取り扱いを誤ると本製品だけでなく周辺の機器や設備などの破損や損害の原因になります。

◎ 設置・保管

警告

下記の事項を守ってください。火災、感電、機器の故障の原因になります。

- 電源配線工事などの設置作業は、必ず弊社または弊社指定業者にお申し付けください。
- 安全に作動させるため、配電盤には必ず弊社指定の漏電ブレーカーを設置してください。
漏電ブレーカーは必ず本体 1 台につき、1 個使用してください。
弊社指定の漏電ブレーカーの設置がない場合は、ご使用できない場合があります。
- 機器のアース線は必ず接地してください。
- 機器の外装パネルをはずさないでください。

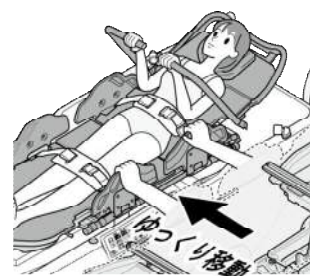
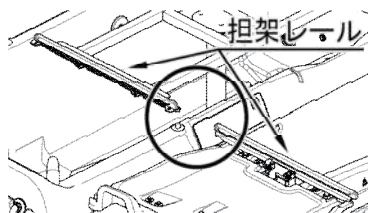
◎ 入浴事故防止のために

⚠ 警告

- 入浴中や機器使用中は、入浴者の状態に十分注意してください。
- 入浴者に異常がないことを常に確認してください。
- 入浴者に異常が認められた場合は、直ちに入浴を中止し、適切な処置を行ってください。
- ストレッチャーと担架の取り扱いに関しては、必ず別冊の「ストレッチャー/担架 取扱説明書」を読んでください。
ケガや思わぬ事故、機器の故障の原因になります。

- 担架を浴槽またはストレッチャーに移動させる時は、浴槽とストレッチャーの担架レールが同一線上にあることを確認してください。その後、担架を浴槽またはストレッチャーの中央へゆっくりと移動させてください。

担架上の入浴者が転落したり、浴槽と担架との間で手足がはさまれたりするなどの事故が発生するおそれがあります。また、機器の故障の原因になります。



- 担架の移動後は、必ず担架が浴槽またはストレッチャーに確実にロックされたことを確認してから手を離してください。

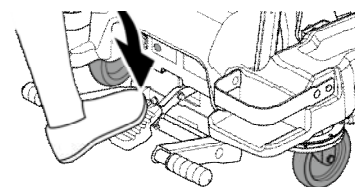
担架上の入浴者が転落したり、浴槽と担架との間で手足がはさまれたりするなどの事故が発生するおそれがあります。また、機器の故障の原因になります。

- 浴槽の縁に腰掛けたり、物を置かないでください。
ケガや思わぬ事故、機器の故障の原因になります。
- 浴槽の支柱上面の中央部に担架以外の物を置かないでください。
ケガや思わぬ事故、機器の故障の原因になります。

転落事故防止のために

- ストレッチャーを浴槽へ接続したあと、ストレッチャーを動かしてもロックがはずれないことを確認してください。

その後、ストレッチャーのキャスターを必ずロックしてください。担架の移動中にストレッチャーが動くと、ストレッチャーと浴槽の接続がはずれるおそれがあります。キャスターやキャスターロック部分が損耗し、ロックの利きが悪くなったら直ちに交換を依頼してください。



- 担架の移動中は、浴槽とストレッチャー(RA-255S)を昇降させないでください。
思わぬ事故や、機器の故障の原因になります。

1. ご使用の前に

⚠️ 特に注意していただきたいこと

◎ 入浴事故防止のために (つづき)

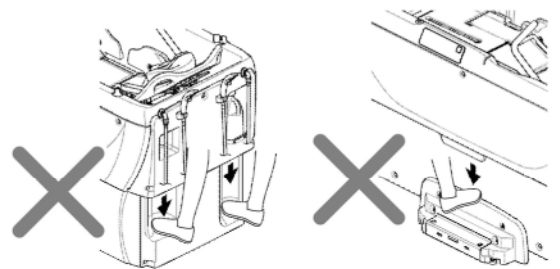
⚠️ 警告

はさみ込み事故防止のために

- 浴槽本体は約 310kg の重量物ですが、設置の際にアンカーボルトなどで床面に固定をしていません。大地震などで強い揺れがあった場合、横滑りする可能性があります。壁と浴槽との間にはさまれないよう、安全な場所へ避難してください。滑り止め措置として、設置する床面とアジャスターの間にゴム板をはさみ込んでいます。移設や搬出、転売をする場合は、必ずお買い上げ店または弊社支店・営業所にお申し付けください。
- 介護浴槽周辺に小児が近づかないようにしてください。介護施設などでは、子供連れでの訪問が予想されます。介護浴槽を使用しない時は、担架をストレッチャーに移動し、電源を切ってください。また、浴槽のある部屋を施錠するなどの措置を取ってください。

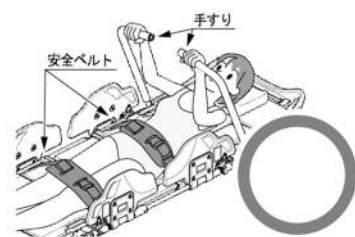
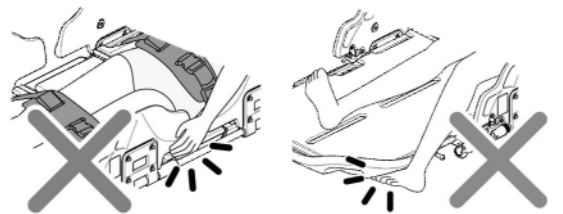
介助者のはさみ込み危険防止のために

- 浴槽の昇降部の下に身体を入れないでください。浴槽の下降時に身体がはさまれ、重大なケガや機器の破損の原因になります。
- 浴槽の昇降部の周りに物を置かないでください。不安定なステップ台などを浴槽の周りに置いていると、浴槽の下降時に身体がはさまれ、重大なケガや機器の破損の原因になります。



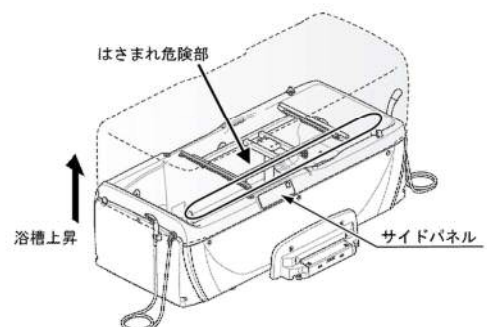
入浴者のはさみ込み危険防止のために

- 担架をストレッチャーから浴槽(または浴槽からストレッチャー)に移動する時は、担架の裏側や各部の隙間に手足を入れないでください。手足がはさまれ、ケガをすることがあります。
- 入浴時は、入浴者が手すりを持っていることを確認してください。入浴者の手や足の位置に注意し、「上昇」スイッチまたは「下降」スイッチを押してください。浴槽が昇降すると、手足がはさまれ、ケガをすることがあります。



浴槽清掃者のはさみ込み危険防止のために

- 浴槽洗浄時には、必ず担架をストレッチャーに移動させてから行ってください。浴槽に担架を乗せたまま清掃を行っている場合に、スイッチに接触すると浴槽が昇降しケガや事故が発生するおそれがあります。浴槽内槽部分の洗浄時には、必ず電源を切った状態で行ってください。



⚠ 警告

ヤケド事故防止のために

- 施設側からの給湯圧、給水圧、給湯温度が急激に変動すると、浴槽の給湯口から吐出される湯温も変動することがありますので、注意してください。
- 定期的(1ヶ月に1回程度)に、手持ちの温度計を使用して浴槽湯温を測定し、センターパネルの浴槽湯温表示と大きな差がないことを必ず確認してください。
温度センサの劣化、故障により実際の温度と表示温度が異なる場合があります。



介助者のヤケド防止のために

- 初期給湯時は電子ミキシングの温度調整動作により、一時的に設定温度と大きく異なる温度のお湯が吐出される場合がありますので、特に注意してください。

入浴者のヤケド防止のために

- 浴槽を上昇させる前に、必ずセンターパネルの浴槽湯温表示で湯温が適切であることを確認をしてください。
- 入浴前には、必ず介助者の手で浴槽内の湯温が適切であることを確認してください。
- ハンドシャワーを使用する時は、
 - ① 必ず介助者の手で湯温を確認しながら使用してください。
 - ② 入浴者の耳や目に湯がかからないようにしてください。
 給湯圧や給水圧の変動により、ハンドシャワーの吐出温度が急激に変動することがあります。
- 増し湯を行う前は、必ず給湯・増し湯設定温度表示で湯温が適切であることを確認してください。



- 45°C以上の高温の増し湯を行う時は、
 - ① 入浴中に行わないでください。
 - ② 給湯口付近に手足を近づけないでください。
 - ③ 自動噴流を停止しないでください。(HK-255G/S/L)
 自動かくはん機能での自動噴流は湯温を均一に攪拌しています。増し湯中に浴槽湯温が均一でなくなった場合、自動噴流は湯の攪拌が終わるまで停止できません。(自動かくはん機能)

1. ご使用の前に

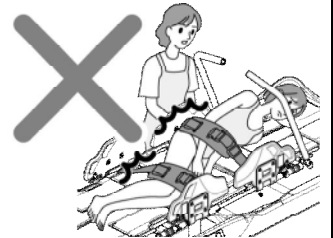
⚠️ 特に注意していただきたいこと

◎ 入浴事故防止のために (つづき)

⚠️ 警告

おぼれ事故防止のために

- 仰向け姿勢のとれない入浴者は、入浴させないでください。
- 入浴者を横向き姿勢でベルト固定したまま、入浴させないでください。
浴槽昇降による担架の変形でベルトが入浴者に食い込み、入浴者がケガをしたり、おぼれるおそれがあります。
入浴者を仰向け姿勢にし安全ベルトで入浴者の身体を固定後、入浴してください。
- 入浴者の状態を確認しながら浴槽を上昇させてください。
小柄な入浴者など体格や入浴姿勢によっては、自動停止位置でおぼれる可能性があります。
そのような入浴者の場合は、介助者は水位を確認しながら適切な水位で停止スイッチを押してください。



火災・感電防止のために

- 操作パネルやカバーの隙間には、故意に水を掛けないでください。
機器の故障の原因になります。
- 清掃作業に入る前には、定められた手順、操作で機器を使用前の状態に戻してください。
その後、電源を切ってください。

◎ 薬液の使用・管理

⚠️ 警告

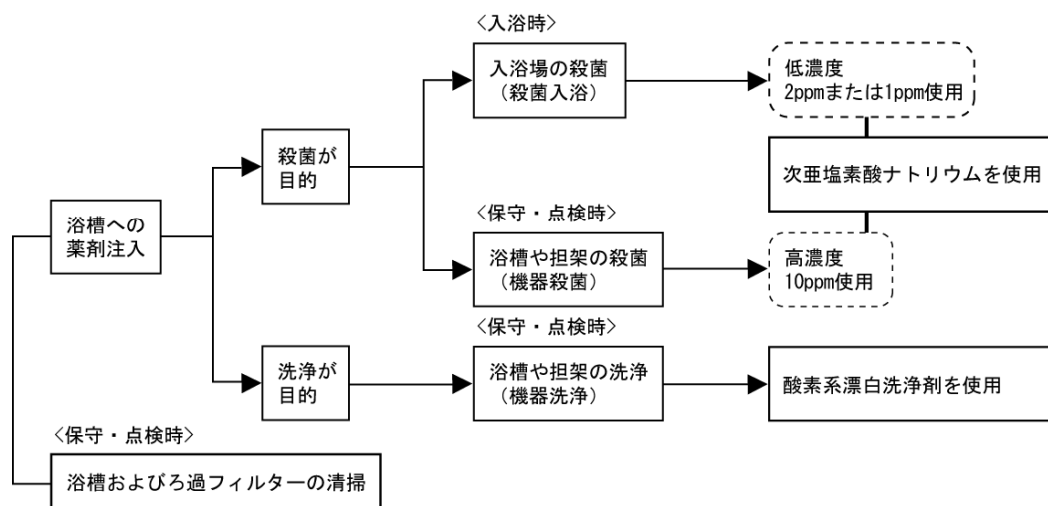
- 次亜塩素酸ナトリウムは管理責任者をおき、下記の点に注意して厳重に管理してください。
 - ① 小児の手の届かないところで保管してください。
 - ② 直射日光を避け、涼しいところで保管してください。
 - ③ 他の容器に移すと品質変化を起すことがありますので、そのまま保管してください。
- 次亜塩素酸ナトリウムは、酸性の製品やその他の製品と混合・併用しないでください。
有毒な塩素ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼします。
次亜塩素酸ナトリウムには『まぜるな危険』の警告表示が義務付けられています。
- 次亜塩素酸ナトリウムの取り扱いにあたっては、十分な換気を行い、次亜塩素酸ナトリウムが身体に接触しないように保護具(マスク、ゴム手袋、長靴)を着用してください。
 - ① 吸い込んだ場合
塩素ガスを吸い込んだ場合は、速やかに医師の診察を受けてください。軽く咳が出る程度であれば、風通しの良い場所で体を楽にして新鮮な空気を吸い、休息させてください。
 - ② 目に入った場合
目に入った場合は、ただちに水道水などのきれいな流水で十分洗い流し、「次亜塩素酸ナトリウムが目に入った」と告げて、速やかに医師の診察を受けてください。
 - ③ 口に入った場合
誤って飲み込んだ場合は、ただちに多量の水か牛乳、生卵など有機性の高い食品を多量に飲み、「次亜塩素酸ナトリウムを飲んだ」と告げて、速やかに医師の診察を受けてください。
 - ④ 皮膚に付いた場合
人体や衣服に付いた場合は、皮膚炎や脱色の原因になりますのでただちに多量の水で洗い流してください。そのまま放置すると、場合によっては、塩素ガスが発生する危険があります。

◎ レジオネラ属菌への感染予防

レジオネラ属菌は、一般土壌のほか空調設備の冷却塔、噴水、温泉など比較的身近なところにいる菌で、感染力は強くありません。しかし、シャワーのような細かい霧が飛び散るような場所では菌を含む細かい粒子を肺胞まで吸い込んで感染することがあり、高齢者や新生児のレジオネラ肺炎による死亡例が報告されています。介護浴槽は、一般的にレジオネラ肺炎にかかりやすいとされる高齢者や糖尿病など持病のある人達の利用が予想されます。したがって、レジオネラ属菌感染予防のため本書に記載された指示・警告を守ってご使用いただくとともに、保守、点検も必ず実施してください。

介護浴槽ジュストでは、下図のように殺菌と洗浄を目的とした浴槽への薬剤注入と、毎日の使用後の「浴槽」および「ろ過フィルター」の清掃によって、レジオネラ属菌感染を予防するシステムとなっています。

■ 介護浴槽のレジオネラ属菌に対する対策の全体図



警告

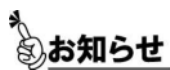
- 使用後のお手入れは、浴槽水の排水後、毎回確実に実施してください。
 - ① 噴流吸込み口フィルターのゴミなどを取り除いてください。(HK-255G/S/L)
 - ② ろ過フィルターのフィルターケース内に残った水は、毎回捨ててください。(HK-255G)
 - ③ ろ過フィルターは、歯ブラシなどで毎回清掃してください。(HK-255G)
 - ④ 一日の使用後には浴槽内の清掃を、毎回実施してください。
- 指定の次亜塩素酸ナトリウムを使用して、1ヶ月に1回以上、装置の殺菌(機器殺菌)を行ってください。
- 指定の機器洗浄剤(酸素系漂白剤)を使用して、半年~1年に1回程度、装置配管内の清掃(機器洗浄)を行ってください。(HK-255G/S/L)
- 殺菌入浴用の殺菌剤(次亜塩素酸ナトリウム)がなくなり、殺菌入浴ができない状態で入浴を開始しないでください。毎回、残量を確認し早めに交換してください。(HK-255G/S)
- 浴槽の湯が汚れたら、こまめに交換してください。
- レジオネラ属菌感染予防を実施していない場合には、入浴中の増し湯および噴流操作(HK-255G/S)や肩掛け操作(HK-255G、HK-255S/L: オプション)をしないでください。
増し湯の際の自動噴流は気泡混じりのジェット噴流であり、細かな飛沫の拡散を引き起こし、レジオネラ属菌の空気中への拡散を招きます。

1. ご使用前に

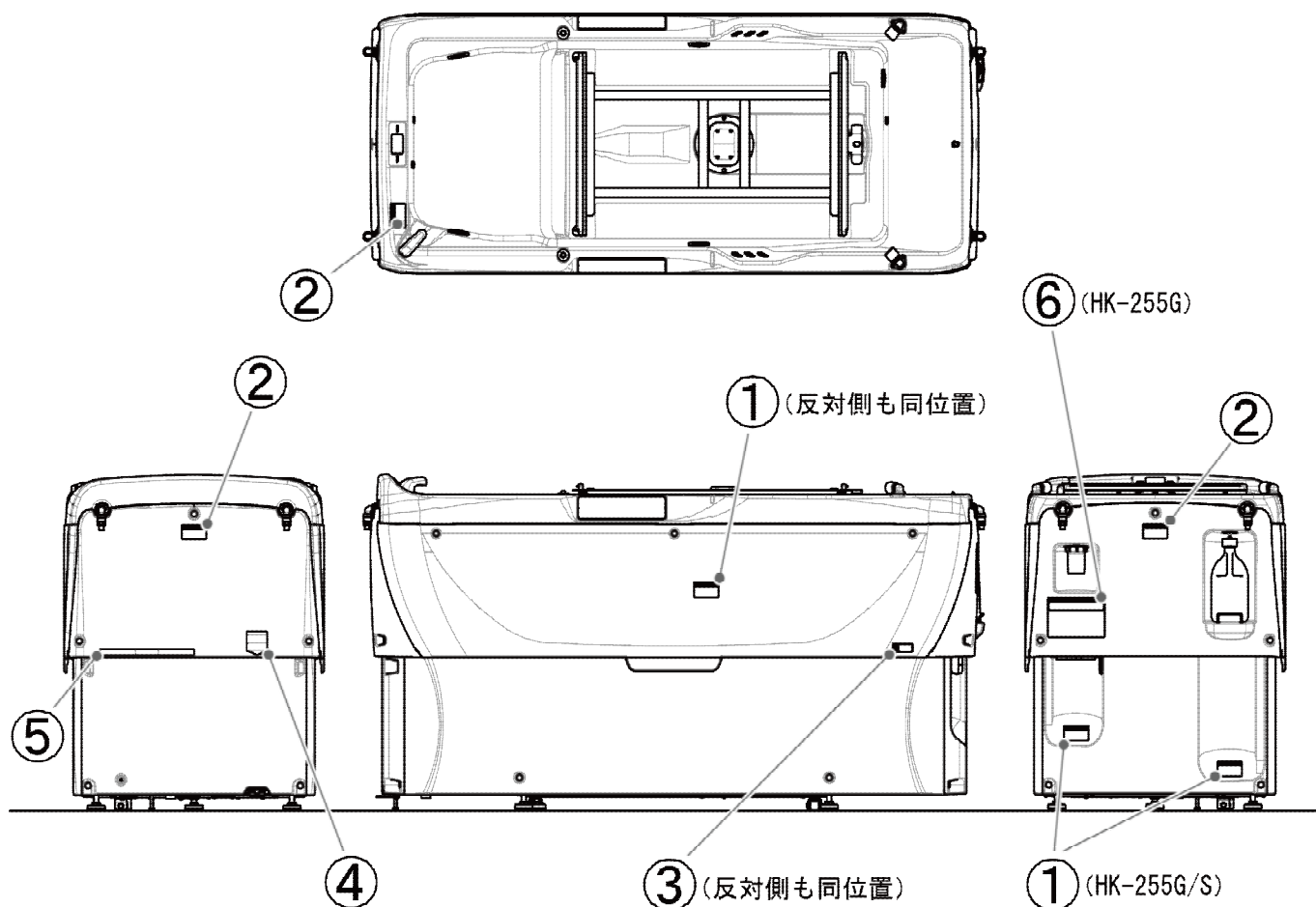
⚠️ 特に注意していただきたいこと

◎ ラベル ※イラストは HK-255G

正しいご使用と事故防止のため、下記の位置にラベルを貼っています。
これらの注意に従って操作を行ってください。



- ・ ラベルはいつでも読めるようにしてください。
汚れた場合は、汚れをきれいにふき取ってください。
- ・ ラベルを破損・紛失したり、記載内容が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはお買い上げ店または最寄りの弊社支店・営業所へご注文ください。



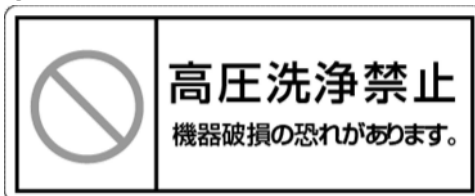
① 注意ラベル



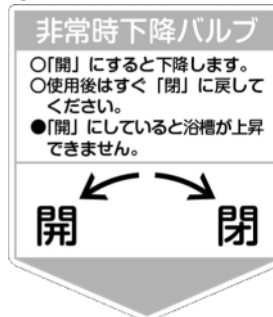
② 注意ラベル



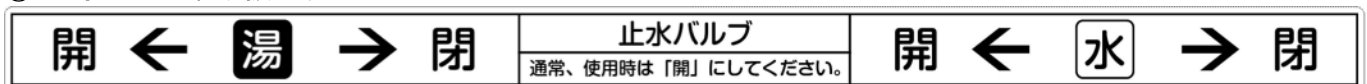
③ 禁止ラベル



④ 非常時下降バルブ取り扱いラベル



⑤ 止水バルブ取り扱いラベル



⑥ ろ過フィルター取り扱いラベル (HK-255G)

